

## 2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(法人の名称:特定非営利活動法人わっこ谷の山福農林舎)

### 1 事業実施の方針

- ・ この法人は地域資源(農業・林業・福祉・教育・エネルギーなど)を横方向に結び、誰もが自分の力を発揮できる暮らしやすい地域、かつ持続可能な社会をつくることを目的とする。
- ・ 障がいのある人、生活困窮者の就労支援、および相談支援を行う。
- ・ 遊休荒廃地を利用した農業振興を推進する。
- ・ 木質バイオマスボイラ運用に伴う松枯れ材のエネルギー活用を図る。
- ・ 自然体験を通じた交流人口増加のための取り組みを行う。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の 人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額 (単位:千円)
社会福祉を目的とした事業の企画・運営事業	引きこもり者、不登校者、発達障がい者等を対象とした相談、居場所支援	(A) 週5回 (B) 筑北村 (C) 4名	(D) 筑北・麻績村民 (E) 25名	1,318千円
障害のある人などの就労支援および雇用促進、福祉就労のための事業	認定就労訓練事業	本事業年度は実施無		
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業 地域活動支援センター事業・自立生活援助事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 6名	(D) 筑北・麻績村 (E) 40名	15,077千円
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	特定相談支援事業・一般相談支援事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 3名	(D) 筑北・麻績村 (E) 45名	1,798千円
児童福祉法に基づく障害児相談支援事業	障害児相談支援事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 3名	(D) 筑北・麻績村 (E) 5名	151千円
介護保険法に基づく居宅介護支援事業	居宅介護支援事業	今事業年度は実施予定なし		

森林の利活用推進事業	支障木、枯れ木等を利用した薪販売事業	(A)通年 (B)筑北村坂北(加工場所) (C)14名	(D)筑北村・麻績村村民 (E)6,500人	4,170千円
森林の利活用推進事業	松枯れ木伐採及び作業道の整備等	(A)通年 (B)筑北村・麻績村 (C)14名	(D)筑北村・麻績村村民 (E)6,500人	3,625千円
自然体験・環境教育事業	自然体験・環境教育の実施	(A)通年 (B)国内 (C)13名	(D)国内 (E)75名程度	58千円
観光・地域振興に関する事業	地域の困りごと(草刈・公園管理・圃場の整備・空き家管理等)の代行サービス	(A)通年 (B)筑北村・麻績村内 (C)15名	(D)筑北・麻績村村民 (E)95名	2,779千円
	自然体験を通じた交流人口増加のための取り組み	本事業年度は実施なし		
	遊休荒廃地における古代麦・ケールおよび桜花木の生産研究事業	(A)通年 (B)筑北村坂北向原・および坂北中村 (C)15名	(D)地権者 (E)10名	536千円
農林業の振興に関する事業		本事業年度は実施なし		
本条第1号から第10号に係る研究事業	農林業・社会福祉活動に関わる将来のための研究事業	本事業年度は実施なし		
本条第1号から第10号に係る人材育成のための教育研修事業	技術研修等	(A)通年 (B)筑北村 (C)4名	(D)県内および全国 (E)50名	58千円
本条第1号から第10号に係る普及啓発、政策提言、コンサルタント事業	講師派遣 コンサルタント派遣	(A)通年 (B)筑北村 (C)4名	(D)県内および全国 (E)250名	50千円
その他第3条の目的を達成するために必要な事業	農林業・福祉・教育・観光などの連携に関する事業	本事業年度は実施なし		

## 2021年度わっこ谷の山福農林舎 事業報告書

### 1. 期間

2021年4月1日～2022年3月31日

### 2. 事業主体

特定非営利活動法人 わっこ谷の山福農林舎

### 3. 場所

筑北村、麻績村、他近隣地域

### 4. 重点目標

- ① 農林地の多面的利用の開始
- ② 農林福学連携のメゾ展開
- ③ 複層的な支援体制の構築

### 5. 事業概要

木質バイオマス循環自立創生事業が終了し、初めての年度だった。補助財源が少ない中で安定した運営体制を整えるとともに各事業がそれぞれの方向性に向け基盤を整える一年となった。

#### 【重点目標の進捗】

#### ① 農林地の多面的利用の開始

利用方法が徐々に拡充されてきている。

##### ↓ フィールド利用

- ・ 山福が管理するフィールド（赤松園場、上手方林地、小仁熊土場）で教育連携利用を実施した。上手方林地では作業道整備、伐採を行い、次年度に向けての態勢整備を実施した。
- ・ 長野大学（2日）、聖南中学（6日）、ほっとステイちくほく（1日）
- ・ 伐木造材特別教育を実施（6月、4名受講）

##### ↓ 製材・精油事業

- ・ 製材建屋が7月完成、以降週1回ペースで稼働。DIY用材の販売、賃挽きを開始。2月にホイストクレーン、および周辺機器使用のための電気工事を完工
- ・ 赤松精油、蒸留水の受注生産を開始する。

#### ② 農林福学連携のメゾ展開

「メゾ展開」というほどの展開はできなかった。

- ・ 山村留学八坂美麻学園寄宿生との精油に関する情報交換
- ・ 株式会社MAGMAGとのコラボノベルティの制作
- ・ 農福・林福を新たに開始したい団体（個人）へのコンサルタント業務（2件）

#### ③ 複層的な支援体制の構築

##### ↓ 居宅介護支援事業の開始

対象とする65歳以上の障がい者からの要望がなかったため実施せず。

##### ↓ 居場所支援の充実

昨年度は月延べ35名程度の利用人数が年度途中には延60名/月程度に増加。活動内容も個別プログラムを中心にスタッフ3名にて対応

#### 【各事業の状況】

#### □ 農業・林業・おてこ衆・教育連携事業

##### ↓ 農業

##### ・ スペルト小麦生産

前年比3倍以上の収量(840kg)はあったが倒伏後収穫となったため小石等の混入が多く、実出荷量は前年比238%増(427kg)となった。電柵は従来の物が老朽化したため、入替え、追加設置およびコンバータの新設を行った。

##### ・ 花木生産

出荷可能な栽培年数となったが生育状況が芳しくなく、今年度の出荷は見送った。

##### ・ にんにく生産

前年より生育良く、収穫分(40kg)全量完売した。

##### ・ ケール生産

生産調整があったこと、ハウス1棟で蛾が孵化してしまい収穫途中より1棟分は全滅となったが収入はほぼ横ばいとなった。

##### ↓ 林業

##### ・ 伐採

伐採件数は前年比15%減となったが(36件)、収入は前年度を上回った。法人開設以前か

らパートとして活躍された林田氏が「縁屋（えにしや）」の屋号で2022年1月より個人事業主として独立。独立後も提携しながら業務を行っている。

- ・ 薪製造  
目標の100㎡には届かなかったが約70㎡を販売。シーズン前に「薪祭り」を開催。多数の来場者があり、新規顧客も増加した。
- ・ 薪ボイラ運用  
効率的な燃焼に関する検証業務を実施（村主体/夏季・冬季）、結果、重油が5万㍓削減、薪の納入量が前年比190%増加した。灯油の高騰により薪ボイラの有効性について再認識を持ってもらう機会となった。
- ・ 製材、精油  
※重点目標①にて記載のとおり
- ↳ おてこ衆  
・ 前年比30%の減少（91件）となった。4月に独立開業した里守師（加藤氏）へ剪定部門を移譲したことが大きな理由ではあるが、里守師からのおてこ依頼もあり、就労訓練メンバーの新たな就業場面となっている。
- ↳ 教育連携事業  
※重点事業①②にて記載のとおり

□ 福祉事業

- ↳ 就労継続支援B型事業
  - ・ 就職者：2名（A型含む）
  - ・ 農林業・代行サービス・ボイラ運用

2021年度延利用者	2020年度延利用者
1,432名	1,249名

- ↳ 地域活動支援センター事業
  - ・ 働く準備が十分に整っていない方に対して居場所を提供し当事者支援・軽作業・レクリエーション、個別プログラムを実施

2021年度延利用者	2020年度延利用者
922名	541名

- ↳ 相談支援事業
  - ・ 本年度より縮小予定だったため前年比25%減、障がい児相談件数が増加している

【計画相談】

2021年度延利用者	2020年度延利用者
119名	158名

【一般相談（移行・定着）】

事業	2021年度延利用者	2020年度延利用者
地域移行	10名	14名
地域定着	36名	52名

- ↳ 自立生活援助事業
  - ・ ひとり暮らし、もしくは家庭での支援が十分でない利用者への支援
  - ・ 契約者：9名

2021年度延利用者	2020年度延利用者
107名	102名

- ↳ 移動支援支援事業
  - ・ 放課後デイサービスへの送迎、寮への送迎を主に実施。障がい児の利用が多くみられる。
  - ・ 登録者5名

2021年度延時間	2020年度延時間
372時間	48時間

✚ 自発的活動支援事業

- ・ 補助事業2年目
- ・ 当事者による企画・運営をサポートするとともに普及啓発活動、組織化へ向けた取り組みを行った。

【内容】※（ ）内は参加者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
ゲーム大会 (4) ヨガ (2) ごはんカフェ (11)	バドミントン (6) ごはんカフェ (15) ダレデモご飯 (14)	ゲーム大会 (4) ヨガ (3) ごはんカフェ (15) ダレデモご飯 (7)	カラオケ (3) ごはんカフェ (11) ダレデモご飯 (4)	BBQ (8) コロナのため中止	ヨガ (3) ごはんカフェ (12) ダレデモご飯 (1)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
バドミントン (7) ヨガ (3) ごはんカフェ (11) ダレデモご飯 (7)	ボウリング (8) ごはんカフェ (8) ダレデモご飯 (6)	バドミントン (7) ヨガ (2) ごはんカフェ (10) ダレデモご飯 (10)	コロナのため中止	ヨガ (2) コロナのため中止	バドミントン (6) ごはんカフェ (7) ダレデモご飯 (3)

✚ 居宅介護支援事業

※重点項目③記載のとおり

✚ 障がい者認定区分調査業務

2021年度延人数	2020年度延人数
17名	2名

✚ 調査業務

- ・ 「みらいの福祉施設整備に関するアンケート」(麻績村/全戸調査回収率 38%)

□ 理事会等

日付	項目	内容
5/12	内部監査①	2020年度事業報告・決算
5/18	第1回理事会	2020年度事業報告・決算
5/18	通常総会	2020年度事業報告・決算
6/17	第2回理事会	2021年度賞与支給
9/21	第3回理事会	2020年度就労事業会計報告 工賃変動積立金
11/29	内部監査②	上半期監査
2/25	第4回理事会	2022年度事業計画・予算(素案検討)
3/28	第5回理事会	2022年度事業計画・予算 工賃規定の一部改訂/賞与適用範囲

□ 補助事業・助成金等

月	補助事業等名	金額	詳細
10月	小規模事業者持続化補助金	575,000	2020年度事業/製材ストックヤード整備
11月	新型コロナウイルス感染症包括支援事業	100,000	2021年村事業
1月	赤い羽根共同募金事業	100,000	2020年度事業/居場所支援
2月	両立支援等助成金	670,000	2022年度事業/育休・産休態勢整備

## 6. 出来事

日付	内 容	詳 細
4/1	居宅介護支援事業開始	4月1日長野県指定
4/13	「森林情報」掲載	赤堀楠雄氏
4/20	視察受入	長野県セルプセンター沖村さやか氏 他1名
4/22	視察受入	1名
4/25	チラシ全戸配布	2800枚
5/12	内部監査	2020年度事業報告・決算
5/18	理事会①・通常総会	2020年度事業報告・決算
5/18	市民タイムス掲載	居場所づくり・ダレデモごはん
5/24	バイオマスポイラ検証①	2日、森の仲間たち
5/26	信濃毎日新聞掲載	居場所づくり・ダレデモごはん
5/28	聖南中学校総合学習	全校/脱炭素社会について
5/31	福祉だより信州掲載	長野県社会福祉協議会機関誌
6/1	あんしんネットワーク事業受託開始	権利擁護・金銭管理事業
6/9	市民タイムス掲載	地域連携・いわっと
6/15	視察受入	(株)ステキバリエーション 7名
6/15	理事会②	賞与計算等
6/18	伐木造材特別教育	4名受講
6/21	バイオマスポイラ検証②	3日、森の仲間たち
6/23	無煙炭化器購入	モキ製作所
6/24	長野大学講義	環境ツーリズム学部1年、15名
7/1	長野大学FW	製材体験・農業体験・森林整備体験
7/2	聖南中学校WS	脱炭素化に向けてできることワークショップ
7/10	信濃毎日新聞掲載	長野大学FW記事
7/18	市民タイムス掲載	長野大学FW記事
7/23	市民タイムス掲載	聖南中学校 脱炭素化提言書掲示
7/26	視察受入	特別支援連絡会 12名
8/25	視察受入	美麻エネルギー 17名
9/21	理事会③	就労事業会計報告等
10/7	ほっとステイちくほく受入れ	日本橋中学校 8名
10/8	聖南中学校総合学習	きささげの歴史について
10/25	視察受入	千葉大学 ほか1名
11/3	市民タイムス掲載	聖南中学校 きささげ
11/17	信濃毎日新聞掲載	ラジコン草刈り機
11/18	視察受入	関東農政局 2名

11/29	内部監査	久保田房男氏
12/14	地域共生フォーラム登壇	長野県社協主催 300名参加
12/15	コンサルタント業務	青木結花氏
12/20	ラジオ出演	SBC ラジオ
2/2	農福連携シンポジウム登壇	信濃町 100名参加
2/3	マガジンハウス取材	「こここ」等電子媒体 3月末発行
2/4	ネットショップ開設	Stores
2/8	ノウフクアワード優秀賞受賞	フレッシュ賞 全国25団体に選出
2/10	精神保健福祉士実習生受入れ	長野大学 1名
2/14	バイオマスポイラ検証③	森の仲間たち 3日
2/17	製材ストックヤード電気工事	若林設備
2/17	コンサルタント業務	神奈川県葉山町 佐々木秀夫氏
2/24	バイオマスポイラ遠隔装置設定	ラブフォレスト
2/25	理事会④	2022年度事業計画・予算素案検討
3/8	ノウフクアワード授賞式	新宿ミライナタワー
3/16	バイオマスポイラ検証報告会	森の仲間たち、筑北村観光課
3/17	MG プレス掲載	ノウフクアワード
3/24	ノウフクアワード受賞報告	筑北村村長/テレビ松本・市民タイムス・信濃毎日新聞取材
3/28	理事会⑤	2022年度事業計画・予算

## 7. 数値

### ① 素材生産、請負業務等の状況

項目	2021年度	2020年度	2019年度	備考
薪販売	47件	36件	25件	
ポイラ薪製造	83,708 kg	43,984 kg	250 m <sup>3</sup>	温泉用
木の駅集荷	92 m <sup>3</sup>	144 m <sup>3</sup>	120 m <sup>3</sup>	
圃場整備	61件	75件	54件	草刈り等
竹林整備	0件	2件	1件	
伐採	36件	42件	34件	
木材販売	10件	6件	0件	
庭木剪定	6件	34件	31件	里守師にほぼ移譲
農林作業補助	19件	16件	10件	
公園管理業務	9件	9件	7件	村委託業務
家事代行	5件	3件		
古代麦収穫	840 kg	252 kg	650 kg	
ケール収穫	2621 ケース			
にんにく販売	17件			
きささげ収穫	187 kg	137 kg		
花木作付(桜)			1反5畝	

視察受入れ	7件	7件	3件
講演会・講義等	10件	4件	教育連携等
インターン者数	8名		

② 雇用者数

常勤4名、パート5名、日々雇入5名

2021年度	2020年度	2019年度	平成30年度
14名	13名	10名	6名

③ 福祉就労者数

障害種別	2021年度	2020年度	2019年度	平成30年度
知的障がい	6名	5名	5名	3名
精神障がい	7名	5名	3名	6名
引きこもり者	4名	3名	1名	0名
合計	17名	13名	9名	9名

・ 企業就職者：3名

④ 会員数

会員数は減少したが、正会員が増加。

種別	2021年度	2020年度	2019年度
正会員	23名	17名	14名
準会員	4名	6名	18名
賛助会員	34名	65名	53名
賛助会員(団体)			1者
合計	61名	87名	86名

⑤ SNS投稿(フェイスブック)

項目	2021年度	2020年度	2019年度
投稿数	63件	81件	66件
オーディエンス	426名	333名	228名

SNS投稿(インスタグラム)

項目	2021年度	2020年度
投稿数	74件	92件
オーディエンス	204名	120名

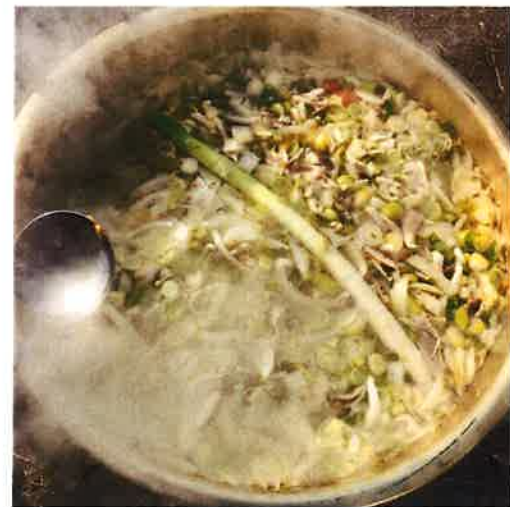
⑥ 福祉事業利用者数

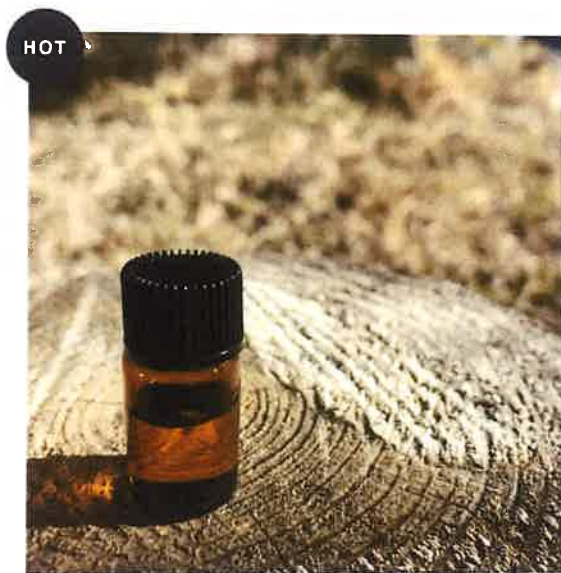
事業	2021年度	2020年度
就労継続支援B型	9名	7名
特定相談支援	44名	55名
自立生活援助	10名	10名
一般相談支援	8名	6名
地域活動支援センター	22名	18名
移動支援	5名	4名
あんしんネットワーク	5名	0名
障害区分認定調査	17名	5名
合計(重複含む)	120名	105名

8. 決算(別紙参照)









お山の恵み アカマツの精油 2ml

SOLD OUT

